

## 【授業実践開発班：イ 現代社会 単元「地方自治と住民の福祉」】

### 資料を根拠に、経済的な見方・考え方を働かせ考察する授業実践 —大府市・刈谷市・東浦町の市税・町税は増えたか？—

#### 1 はじめに

本校の普通科の教育課程では、公民科（現代社会）を3年生で2単位履修する。政治経済や倫理を履修しないため現代社会で公民科の目標達成を目指すこと、一方で大学入試において活用する生徒が多いことから、より効率的な授業展開が求められる。そのためには、目標を明確にし、系統立てて授業を進める必要性を強く感じている。そして、生徒の主な通学エリアは、大府市、刈谷市、東浦町であり、生徒が身近に感じられると考え本実践の対象とした。また、知識や資料から得られた情報を活用・思考し結論を出す力は今後ますます求められると考える。そこで、本実践の目標を、「資料を根拠に、経済的な見方・考え方を働かせ、考察させる」ことと設定し、1時間で実践した。

#### 2 実施する科目 現代社会

#### 3 日時・場所 令和2年9月上旬・各ホームルーム教室

#### 4 学級 3年1組から6組（普通科）

#### 5 単元名 地方自治と住民の福祉

#### 6 単元の目標

- (1) 地方自治に対する関心を高め、政治参加への意識を高めさせる。
- (2) 地方自治の組織や地方財政について考察させ、その過程を表現させる。
- (3) 地方自治に関する情報を、的確に読み取らせる。
- (4) 地方自治の組織や地方財政について理解させ、その知識を身に付けさせる。

#### 7 単元の指導計画

##### (1) 単元の配当時間（3時間）

- ・「民主主義の学校」「地方自治の組織と運営」 1時間
- ・「地方分権の推進」「地方財政の危機と地方行政の課題」 1時間
- ・「大府市・刈谷市・東浦町の市税・町税は増えたか？」 1時間（本時）

##### (2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
地方自治に対する関心を高め、政治参加への意識を高めている。	地方財政について、経済的な見方・考え方を働かせ、考察している。	地方自治に関する情報を、的確に読み取っている。	地方自治の組織や地方財政について理解し、その知識を身に付けている。

(3) 指導と評価の計画（3時間）

次程	ねらい・学習活動等	関	思	技	知	評価規準等
第一次 (1時間)	【ねらい】 地方自治の組織について理解させ、政治参加の意義を深めさせる。					
	・地方自治の組織について、政治参加の意義をプリントにまとめさせる。	●			●	・地方自治の組織について理解している。政治参加の意義を深めている。  (ワークシート)
第二次 (1時間)	【ねらい】 地方財政について理解させ、地方分権の課題について考察させる。					
	・地方財政についてプリントにまとめ、地方分権の課題を理解する。			●	●	・地方財政について資料を解釈しまとめている。地方分権の課題を理解している。  (ワークシート)
第三次 (1時間)	【ねらい】 資料を根拠に、経済的な見方・考え方を働かせ、考察している。					
	・資料を読み取り、理由を示して予想する。		●			・資料を的確に読み取り、根拠に基づき結論を出している。  (ワークシート)
事後	・定期考査（ペーパーテスト）の実施	●			●	・地方自治の組織や地方財政についての知識を身に付けている。 ・地方自治に参画することの意義を更に深めている。

8 本時の学習

- (1) 本時の目標 資料を根拠に、経済的な見方考え方を働かせ、考察させる。
- (2) 教材 最新図説現社（浜島書店）、自作のワークシート

(3) 本時の指導計画

	学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価の観点 ・評価方法
導入 (15分)	・本時の流れ ・復習	・本時の流れを理解する。 ・歳入項目と税収入について説明を聞き、ワークにまとめる。	・本時の流れを説明する。 ・歳入項目と税収入について説明する。 「ワーク1」	
展開 (20分)	・活用したい資料の選択	・ペアをつくる。 ・9つの資料から活用したい資料を三つ選択する。その理由もワークにまとめる。 ・ペアを解体する。	・資料について、質問があれば説明する。 ・理由が重要であることを強調する。 「ワーク2」	
まとめ (15分)	・結論	・資料を読み取り、市税・町税収入の増減を予想する。その理由もワークにまとめる。 ・正解を聞く。 ・正解した1～2名は理由を発表する。	・資料から読み取ったことを理由に予想するよう指示する。 ・正解を発表する。	【思考・判断・表現】 「ワーク3」

(4) 本時の評価基準

ワーク3の評価基準【思考・判断・表現】

「おおむね満足できる」状況（B）と評価される例
資料に基づき予想した合理的な理由が、二つの市町村について書かれている。
「十分満足できる」状況（A）と評価される例
資料に基づき予想した合理的な理由が、三つの市町村について書かれている。
「努力を要する」状況（C）と評価される生徒の例と教師の指導
資料に基づき予想した合理的な理由が、一つの市町村のみ書かかれている。または、書かれていない。 →各資料が意味することを確認し思考を促す。

9 生徒が経済的な見方・考え方を働かせた場面

ワーク3 情報を意味付ける発問 「資料から読み取ったことを理由に予想しよう」  
獲得の証拠 予想した理由を合理的に説明している。

10 まとめ

(1) 成果

生徒に興味をもって取り組ませることができた。ペアワークでは互いの考えを伝え合い、思考を深めている様子だった。「個人市民税+法人市民税+固定資産税≒市税・町税」という知識を活用し、土地の利用状況や地価公示価格、人口などの資料から予想する生徒が多かった。累進課税による効果を日経平均株価から予想する生徒もいた。また、少数ではあるが「(歳出金額=歳入金額) - 市債・町債

「地方交付税＝地方税＋国庫支出金」ということに気付き予想する生徒もいた。多くの生徒から、知識と資料から得た情報を活用・思考し結論を出させることができたように感じる。1時間の配当時間で実践が完結できたことも、効率的な授業展開という観点から意味があると思う。

## (2) 課題

知識や資料から得られた情報を活用し、思考することによって結論を出す力は今後更に求められる。そのためには、資料を的確に読み取ることと思考するトレーニングを繰り返すことが重要だと考える。本実践の課題としては、資料の種類がワンパターンだったこと、思考過程を幾つかのパターンに狭めてしまっていたことだと感じる。今後、さまざまな資料に触れさせ、また、オープンエンドの課題に取り組みせることによって思考を深める授業実践を模索したい。

## 各資料

### 1 土地の利用状況（宅地） 出典：各市町村ウェブページ

	大府市 ha	刈谷市 m <sup>2</sup>	東浦町 ha
2014年 H26	1039.5	17,165,024	690.1
2015年 H27	1046.4	17,249,719	689.2
2016年 H28	1051.8	17,338,490	691.5
2017年 H29	1059.7	17,474,498	690.8
2018年 H30	1067.6	17,547,984	694.2

### 2 外国人人口 単位：人 出典：各市町村ウェブページ

	大府市	刈谷市	東浦町
2014年 H26	1,872	3,686	1,258
2015年 H27	1,995	4,036	1,351
2016年 H28	2,143	4,364	1,421
2017年 H29	2,351	4,757	1,462
2018年 H30	2,589	5,176	1,506

### 3 犯罪発生状況 単位：件 出典：各市町村ウェブページ

	大府市	刈谷市	東浦町
2014年 H26	904	1,817	407
2015年 H27	781	1,327	326
2016年 H28	695	1,323	289
2017年 H29	659	1,237	308
2018年 H30	568	1,030	207

### 4 人口推移 単位：人 出典：各市町村ウェブページ

	大府市	刈谷市	東浦町
2014年 H26	88,550	148,449	50,337
2015年 H27	89,423	149,131	50,282
2016年 H28	90,160	150,079	50,238
2017年 H29	91,384	150,658	50,419
2018年 H30	91,952	151,657	50,283

### 5 日経平均株価（始値） 単位：円 出典：YAHOO JAPAN ファイナンス

2014年 H26	16,147
2015年 H27	16,850
2016年 H28	19,000
2017年 H29	19,400
2018年 H30	23,120

6 地価公示価格の推移 単位：万円/m<sup>2</sup> 出典：各市町村ウェブページ

	大府市	刈谷市	東浦町
2014年 H26	10.2	13.1	7.6
2015年 H27	10.5	13.3	7.6
2016年 H28	10.7	13.5	7.6
2017年 H29	10.8	13.7	7.0
2018年 H30	11.1	14.0	7.1

7 一般会計決算状況（歳入の市債・町債） 単位：千円 出典：各市町村ウェブページ

	大府市	刈谷市	東浦町
2014年 H26	568,600	—	558,200
2015年 H27	214,300	224,100	705,100
2016年 H28	600,200	558,000	501,300
2017年 H29	710,800	2,805,500	713,300
2018年 H30	982,800	1,776,700	666,900

8 一般会計決算状況（歳入の地方交付税交付金） 単位：千円 出典：各市町村ウェブページ

	大府市	刈谷市	東浦町
2014年 H26	70,980	52,291	414,793
2015年 H27	68,364	40,684	396,076
2016年 H28	63,680	37,972	346,009
2017年 H29	59,238	30,912	344,197
2018年 H30	58,162	31,389	413,719

9 一般会計決算状況（歳出） 単位：千円 出典：各市町村ウェブページ

	大府市	刈谷市	東浦町
2014年 H26	27,206,190	52,230,184	13,729,707
2015年 H27	26,579,648	53,818,800	13,907,168
2016年 H28	27,913,295	55,877,406	14,599,738
2017年 H29	28,125,929	60,366,690	14,348,891
2018年 H30	31,334,947	59,248,811	15,687,398

**正解**

一般会計決算状況（歳入の市税・町税） 単位：千円 出典：各市町村ウェブページ

	大府市	刈谷市	東浦町
2014年 H26	17,060,811	37,419,218	8,191,346
2015年 H27	17,147,379	35,343,577	8,222,089
2016年 H28	18,375,648	36,310,655	8,260,858
2017年 H29	17,284,744	34,933,985	8,281,977
2018年 H30	18,820,007	37,679,116	8,276,689

## 大府市・刈谷市・東浦町の市税・町税は増えたか？

### ワーク1：復習しよう

地方財政の歳入項目で割合が高いのは・・・ 図説 P163

No1 \_\_\_\_\_ No2 \_\_\_\_\_ No3 \_\_\_\_\_ No4 \_\_\_\_\_

市町村の地方税収入で割合が高いのは・・・ 図説 P207

No1 \_\_\_\_\_ No2 \_\_\_\_\_

問 大府市・刈谷市・東浦町の市税・町税収入は、2014年と比較し、2018年は増えたか？減ったか？  
使いたい資料を以下から三つ選び、根拠に基づき予想しなさい。なお、全ての資料は2014年～2018年の推移が示されている。さらに、「日経平均株価」以外の資料は、大府市・刈谷市・東浦町について示されている。

#### 資料

- 1 土地の利用状況（宅地） 2 外国人人口 3 犯罪発生状況 4 人口  
5 日経平均株価 6 地価公示価格 7 一般会計決算状況（歳入の市債・町債）  
8 一般会計決算状況（歳入の地方交付税交付金） 9 一般会計決算状況（歳出）

ワーク2：使いたい資料を三つ選ぼう。また、その理由を書こう。

資料番号 \_\_\_\_\_

理由：

ワーク3：予想しよう。また、その理由を書こう。

予想 市税・町税収入は・・・

大府市（増えた・減った） 刈谷市（増えた・減った） 東浦町（増えた・減った）

理由：